

原発再稼働許さない

事故原因明らかでないのに

政府は福井県の大飯原発3、4号機を突破口に停止中の原発再稼働の動きを強めています。しかし、福島事故の原因究明さえできず、政府や国会の事故調査委員会も究明途上。なぜ「安全性が確保された」といえるのでしょうか。



高速増殖炉「もんじゅ」
福井県敦賀市

推進派も“疑問”、地元同意なし

再稼働は、ストレステスト（耐性試験）の一次評価の結果を踏まえて首相、関係閣僚が是非を判断します。テストを実施するのは「やらせ」を行った電力会社。審査するのは「やらせ」を指示した原子力安全・保安院。誰が信用するでしょう。原発推進派でさえ「ストレステストで判断できない」といい、地元同意もありません。

原発推進派の原子力安全委・班目春樹委員長「1次評価だけでは安全性評価としては不十分」
西川一誠福井県知事「ストレステストの結果だけを判断材料にするのは不十分」

世論調査 反対が多数

世論調査では原発再稼働反対が多数です。

NHK(2月14日)
賛成22% 反対36%
どちらともいえない36%
「日経」・テレビ東京
(2月20日付)
賛成41%(男性54% 女性29%)
反対43%

悪政の暴走ストップへ力あわせましょう 日本共産党



こくた 恵二
党国対委員長



宮本 たけし
衆院議員1期



清水 ただし
党大阪府副委員長



堀内 照文
党兵庫副委員長

日本共産党は衆院比例
近畿ブロック予定候補
(左の4人)を先頭に
全力をあげます。

「原発ゼロ」の日本に

東日本大震災・福島原発事故から1年。避難している福島県民は16万人、うち6万人以上は県外です。いつ戻れるかも分かりません。



「原発なくせ」と昨年10月に開かれた福島県の1万人集会

再び大事故が起きれば、日本は壊滅的状況に。だからこそ全国各地で「原発なくせ」の声が広がっています。国民のいのちと安全を守るため「原発ゼロ」を政治決断すべきです。

日本共産党

自然エネルギーの活用を



発電能力の99%以上未活用

再生可能エネルギー ポテンシャル(可能性)

非住宅系太陽光発電 1億5,000万
風力発電 18億8,000万
中小水力発電 1,400万
地熱発電 1,400万

計 20億7,800万

現在の 電力供給能力

計 2億3,715万

原発の供給能力
(54基)
4,885万

出典：環境省「再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査」(2010年度)、
日本エネルギー経済研究所「エネルギー経済統計要覧」(2009年度版)より作成

活用可能な自然エネルギー量は、原発を含む全国の発電能力の約10倍にも。現在はその0.7%しか使われていません。原発が止まっても停電は起きていません。自然エネルギーの開発・普及に本気でとりくめば、原発に頼らなくても大丈夫です。

近畿民報

発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所
2012年3月号外

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は
以上の見解を
発表しました。